

地域

西地区の第七・八町内では、なかなかごみ出しマナーが徹底されず、役員の皆さんが頭を悩ませていました。また、昨年七月、収集後に排出されたごみ袋に放火されるといふ事件も発生しました。

そこで、クリーンさつぽろ衛生推進員など会員三十一人が、交替で南西四一二周辺の「ごみステーション美化活動」(表紙の写真)を始めました。これは、ごみステーションの浄化を目指し、利用者へ

のごみに対する意識を高める取り組みです。

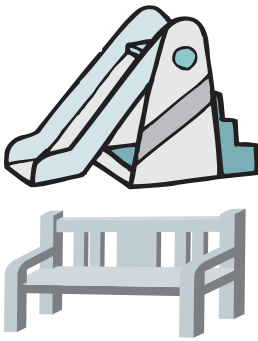
活動は、早朝から午前十時までと、午後七時から十一時までの一日二回。ごみステーションの見回りやごみ出しマナーの啓発活動を行っています。「おはようございます」、

「こんばんは」などと声を掛けることで、地域住民との交流も深めています。



公園

北海道電力の皆さんは、地域住民に貢献しようと、平成十二年から北七条赤い実公園(北七西一三)の清掃やベンチなどの補修・塗装作業を行っています(表紙の写真)。



河川

古くから市民に慕われている鴨々川。この景観を守ろうと、曙地区の第八分区町内会

は、昭和五十三年ころから毎年、ごみ拾いなどの清掃(表紙の写真)を行っています。また、この川の美しさを次世代に伝えようと、市民有志や観光団体、企業など約百団体が集い「鴨々川を清流にする会」(久末聖治会長)を平成十三年に設立しました。年二回、約三百人が清掃のほか、

浄化作用のある炭を川底に敷くなど、清流を取り戻す熱心な活動をしています。



川底に炭を敷設する参加者の皆さん

七月には、「豊平川ふれあいクリーン作戦」が行われました。これは、夏の風物詩である「イカダ下り」に合わせ、豊平川河川敷などの清掃を行う取り組みです。イカダ下り実行委員会と区が今年初めて試みしました。当日は、見物客など約二百人が積極的に参加

して、空き缶やたばこの吸殻などごみ袋二十個分を収集しました。



道路

区内の歩道を花で彩ろうと、百四十団体の皆さんと区土木部が協力して、植樹ますや花壇への苗植えなどを行っています。



東北連合町内会の皆さんによる「北3条通歩道美化事業」



桑園小学校の生徒による「総合的な学習」の一環として行われた植樹ますへの苗植え



JR北海道桑園駅職員などによる「駅前広場の花壇づくり」

このほかにも、区内には街をきれいにしようと、活動している人たちがたくさんいます。

ため講習会を開催し、約百人に除去従事者証を交付して、活動しています。

区職員も、自覚を持って環境美化に取り組みようと、昨年十一月から区役所周辺などの清掃活動を週一回程度行っています。十月には、区内に集中する違法広告物を除去する

